



ぽっぽ屋



輸送サービス労組 東京支部

2023.9.08 No. 023

東京支部主催

サステナブルツアー開催



9月2日～4日 福島県会津郡只見町の緑樹の家

東京支部は9月2日～4日にて福島県会津郡只見町の緑樹の家にて「サステナブルツアー」を開催しました。この間、観光地は利益を優先した結果、観光客によって自然や文化、景観、食が破壊されオーバーツーリズムが発生しています。その対策として新たに作るのではなく、今あるものだけを最大限活用してこれ以上自然を壊さない観光地の本来の姿を持続的に保つことが出来るように、観光地の開発やサービスのあり方を見定め旅行の設定を行うことが大切になります。その一方で地方の人口減少や若者の流出が問題となっています。現在、地方創生の一環として「関係人口の創生・拡大」が注目されています。関係人口の増加は地方にとっては労働力・後継者不測の解消や地域の活性化、また対象になる人にとっても地方と都市との新たなライフスタイルの確立、新たなビジネス立ち上げやスキル取得の援助などお互いにメリットがあります。「サステナブルツアー」と「関係人口の創生・拡大」は公共機関を利用することによってJR東日本が昨年公表した「36路線72区間」問題の対策にも繋がっていきます。

関係人口とは

- ・ 何度もリピートして訪れる人
 - ・ 地域内にルーツがある人
 - ・ 何らかの関わりがある人
- いわゆるその地域の「熱心なファン」



交通手段は公共機関を利用



自然を満喫する参加者